

【2019年度修了式】

3月8日、味の素ナショナルトレーニングセンターで第8回目の「2019年度修了式」を行ない、6競技10名がJOCエリートアカデミーを巣立っていきました。

今回は、新型コロナウイルスの関係で、規模を大幅に縮小し、出席者はアカデミー生とJOCエリートアカデミー関係者のみで行いました。

初めに、福井烈JOC専務理事が、「他者の話に耳を傾けることや自分の意思を明確に伝えることがトップアスリートに求められる資質であり、その力をつけてトップアスリートとなってほしい」と、祝辞を述べました。

福井専務理事による修了証授与に続き、アカデミー在籍生を代表して中條君が「私たちから見た先輩方はとても仲が良く、競技の垣根を越えて毎日生き生きと生活していました。アカデミーにとって“和(輪)”の大切さを実感しました。先輩が修了してしまうことはとても寂しいですが、これからそれぞれの道に向かって進んで行かれることを、心から応援しています。次に会うのは、お互いオリンピック日本選手団の一員としてなって会いましょう。」と送別の言葉を述べました。



その後、修了生が1人ずつ決意表明を行い、アカデミーで過ごした日々を振り返りながら、お世話になった方への感謝と新たな道へと進む意気込みを語りました。

最後に、星野JOC選手強化副本部長が、「修了生は決意表明で、それぞれに違った言葉で感謝の気持ちを表していましたが、“ありがとう”の語源は“有ること”が“難い”という意味で、本来は“滅多にない”や“珍しくて貴重だ”という意味であり、本当に大切なものです。“ありがとう”の気持ちをこれからも大切に持ち続けてほしい」と閉会の挨拶を行ないました。

今回は規模を縮小しての開催となりましたが、これまで7回目を比べても遜色のない、素晴らしい修了式となりました。それは修了生が、保護者や関係者に向けての感謝の気持ちや将来に向けた決意を、自分の言葉ではっきりと伝えることができたからです。在校生には、この姿がしっかり焼き付いたと思います。それが、時間をかけて伝統となっていきます。今年度修了した10名は、新しい伝統を更に積み上げてくれました。

他方、開式直前に味の素ナショナルトレーニングセンターレスリング場で行われた東京オリンピックレスリング代表決定プレーオフで、修了生の乙黒圭祐君(3期生:自衛隊)が代表権を獲得しました。先輩の活躍によって、式が更に明るい雰囲気となりました。

また、今回は修了生保護者に対して、SNSを活用したスマートフォンでの“生ライブ中継”を行ない、好評を得ました。



鏡 優翔(かがみ・ゆうか)
(レスリング:9期生)
東洋大学社会学部



佐藤 匡記(さとう・まさき)
(レスリング:9期生)
山梨学院大学法学部



宇田 幸矢(うだ・ゆきや)
(卓球:7期生)
明治大学商学部



柏 竹琉(かしわ・たける)
(卓球:7期生)
早稲田大学スポーツ科学部



遠藤 拓人(えんどう・たくと)
(水泳/飛込:7期生)
アメリカに留学予定



大塩 勇斗(おおしお・はやと)
(ライフル射撃:7期生)
明治大学政治経済学部



松田 京子(まつだ・きょうこ)
(ボート:10期生)
立命館大学スポーツ健康学部



青木 洋樹(あおき・ひろき)
(ボート:10期生)
早稲田大学スポーツ科学部



高見 愛佳(たかみ・あいか)
(アーチェリー:10期生)
早稲田大学スポーツ科学部



高見 朋夏(たかみ・ともか)
(アーチェリー:10期生)
専修大学経済学部

【水泳/飛込】

飛込国際大会派遣選手選考会

2019年度飛込国際大会派遣選手選考会が2月5日から9日まで東京辰巳国際水泳場で開催され、女子高飛込で安田さんが2位(288.15点)となり、東京オリンピック最終予選会となるFINAダイビングワールドカップ(アクアティクスセンター:東京)の日本代表に決定しました。



安田さんは、予選4位、準決勝6位でしたが、決勝では1本目から2位につけて、2本目は得点が伸びませんでした。それ以降は安定した演技で2位をキープし、日本代表候補の座を獲得しました。

【教育プログラム】

社会体験活動

2019年度の社会体験活動を、2月2日に行いました。今回は茨城県つくば市にあるJAXA(宇宙航空研究開発機構)筑波宇宙センターを訪問し、日本が行っている宇宙開発について学びました。

この活動は、今年度で8回目となります。目的は、「日常では経験できない体験を通して、社会性を身につける」と「集団行動を通して、JOCエリートアカデミーの一員としての意識を高める」ことです。これまでに、飛行機整備工場や食品工場、競馬学校や競輪学校など、様々な分野の施設を見学し、多くのことを学びました。

「つくば市」は、1960年代から筑波研究学園都市として開発が進み、現在は日本国内最大の学術都市となっており、業務核都市、国際会議観光都市に指定されています。

筑波宇宙センターはその一画にあり、1972年に開設しました。約53万平方メートルの敷地に、総合環境試験や電波試験などを行う施設や、人工衛星運用管制室などが点在しています。

アカデミー生は入口付近にある「ロケット広場」で記念撮影を行ない、次に「スペースドーム」と呼ばれる常設展示館の見学を行いました。その後、見学用バスの乗り、国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟の運用管理室や宇宙飛行士養成棟の見学を行いました。

今回の活動を通じて宇宙での無重力を活用した医薬品づくりなど様々な実験行われていることなどを学びました。今回の学びを、アカデミー生が何らかの形で活かして行くことを期待しています。



【教育プログラム】

栄養教育

2月16日第2回栄養教室を、第1部(1月26日:12名参加)、第2部(2月16日:7名参加)の2回に分けて実施しました。

今回は、『フライパンで作れる複合型料理』をテーマとして、一人暮らしで役立つ食材の扱い方・調理器具の取り扱い方・調理のワンポイントを織り交ぜながら、実施しました。また、一人暮らしに向けた準備の調理実習を兼ねていることから高校生のみの方となりました。

実習では、SAKURA DININGの管理栄養士の指導のもと、チキンカレー・鮭のアルミホイル焼き・スパゲティーナポリタンなどの3種類の料理を作りました。参加者はフライパン一つで、色々な料理が簡単に作れることに驚いていました。

参加したアカデミー生からは、「実習は楽しかったか」「調理することの楽しさを知った」言葉が聞かれ、今回の目的である「栄養、食事(調理)についての興味関心を高める」に近づくことができました。



(チキンカレー)



(スパゲティーナポリタン)



(鮭のアルミホイル焼き)

【2020年度エリートアカデミー】

新キャプテン決定

2020年度のキャプテンが、次の2名になりました。「チームエリートアカデミー」のリーダーとして頑張ってください。



中條 扇之介
(ボート: 成立学園高)



高木 葵
(ライフル射撃: 成立学園高)

公益財団法人 日本オリンピック委員会
JOCエリートアカデミー事業



〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1
味の素ナショナルトレーニングセンター
TEL: 03(5963)0355/FAX: 03(5963)0356